



学修支援・教育開発センター



2023年度 「龍谷ICT教育 学長賞」 公開審査会


日時 2024年2月16日（金）13:30～14:30

場所 深草キャンパス 和顔館 1F アクティビティホール
オンライン（zoom）併用

ICTを活用した授業運営・教育活動を行っている教員や学生の学修意欲向上に努めている教職員を対象として優れた取組を称賛するための制度として創設された「龍谷ICT教育賞」。

2023年度は、3組の取組が「龍谷ICT教育賞」を受賞しました。

このたび、これらの取組についてプレゼンテーションを行っていただき、その中から「龍谷ICT教育 学長賞」を選出するための公開審査会を開催いたします。ICTを活用した教育効果の向上をはかる実践的な取り組みを学内共有する機会です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

発表タイトルや概要については裏面をご覧ください。 

2023年度「龍谷ICT教育 学長賞」公開審査会（2月16日（金）13:30-14:30） - 参加申し込みフォーム



対 象：龍谷大学教職員および学生

申込方法：左記のQRコードまたは下記のURLからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/Bdea9uQmKa>

申込締切：2月14日（水）

※オンライン参加の場合、開催当日までに
接続先URLを申し込み時のE-mail宛にお送りいたします

問い合わせ先：学修支援・教育開発センター（教学企画部）

電話 075-645-2163（内線：1051） E-mail：dche@ad.ryukoku.ac.jp

2023年度「龍谷ICT教育 学長賞」公開審査会 プログラム

司会： 学修支援・教育開発センター長／文学部 教授 出羽 孝行

開会のあいさつ（学長 入澤 崇）

「龍谷ICT教育賞」概要説明

タイトル・申請組織	概要
<p>プログラミング演習科目における 自動採点ツールを用いた自由進度学習</p> <p><先端理工学部 奥 健太></p>	<p>「科学技術計算・演習」は受講者84名という大規模な演習科目である。当授業では、学生の多様な学習スタイルによる受講を可能としつつ、個々の学生が能動的に自立して学ぶ力（自己調整学習力）を身につけられるべく自由進度学習を導入した。自由進度学習を実現するためのICTツールとして、TechFULとよばれるサービスの自動採点ツールや電子黒板であるMAXHUBの録画機能を用いた。自由進度学習として、毎回、学生自身で演習での目標を宣言してもらい、各自のペースで演習に取り組んでもらった後、目標に対する振り返りを行ってもらうように設計した。授業アンケートの結果、90%の学生が自由進度学習の授業形式について「取り組みやすかった」と回答した。また、個々の学生が多様な学習スタイルで自己調整学習ができていたことを確認した。</p>
<p>協同学習と個別最適化学習等を取り入れたICT英語授業</p> <p><築地原 尚美></p>	<p>ICTを最大限活用しながら個別最適化された学習と協働的な学びを充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が現在内外で注目されている。本授業ではGoogleフォームやmanabaを活用し、質問紙アンケートを取り入れながら学生のニーズに対応すべく、英語学習に対するモチベーションを向上させながらICTを用いた英語教育を行なっている。映画・洋楽などを用いたアイスブレイキングによる学習モチベーションの向上、グループ活動を併用させたオンライン自律支援学習とスピーチ活動、オンラインライティング支援ツールを用いたライティング活動、学習アプリを用いた自律支援学習である。授業では学生のほぼ全員が所有しているスマートフォンも最大限に活用しながら、音声ファイル等をmanabaに提出させ、学習モニタリングを行なっている。</p>
<p>「データサイエンス・AI入門」の 全学授業展開 -放送大学オンデマンド教材の利用と Google Meetによる学舎間教室中継-</p> <p><グループ代表 先端理工学部 藤田 和弘></p>	<p>数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)のモデルカリキュラムに対応する全学の教養教育科目「データサイエンス・AI入門」は内容が広範囲に及ぶことから、放送大学のオンデマンド教材を利用したオンライン学習、manaba上でのオンラインテストを受講したうえで、深草学舎と瀬田学舎をGoogle Meetを利用した教室授業および遠隔授業として、Google SpreadsheetとGoogle Slideを利用した同時編集環境でのグループワークとして授業展開を行った。外部のオンデマンド教材を利用した点、深草学舎と瀬田学舎を結んだオンライン同時授業として実施した点、同時編集可能なGoogle Educationを利用したグループワークを行った点、所属学部以外の学生とのグループワーク、データ可視化としてGoogle Looker Studioを用いた計算機実習が、特徴として挙げられる。</p>

閉会のあいさつ

※ それぞれ上から順に進めます。1組約15分を予定しています。